

Ryo Imai Portfolio

Innovation Space Carrier / 将来宇宙輸送システム株式会社

Printing Digital Guideline Image Retouch Space / Exhibition

DJI / DJI JAPAN 株式会社

Printing Digital Printing & Digital Space Mark / Guideline Illustration Hasselblad

AXHUM / 株式会社アクサム

Sangetsu Caffé Veloce

BRANDCREATE / 株式会社ブランドクリエイト

Fourmost Bluesael Hotel Emisia Probuilders



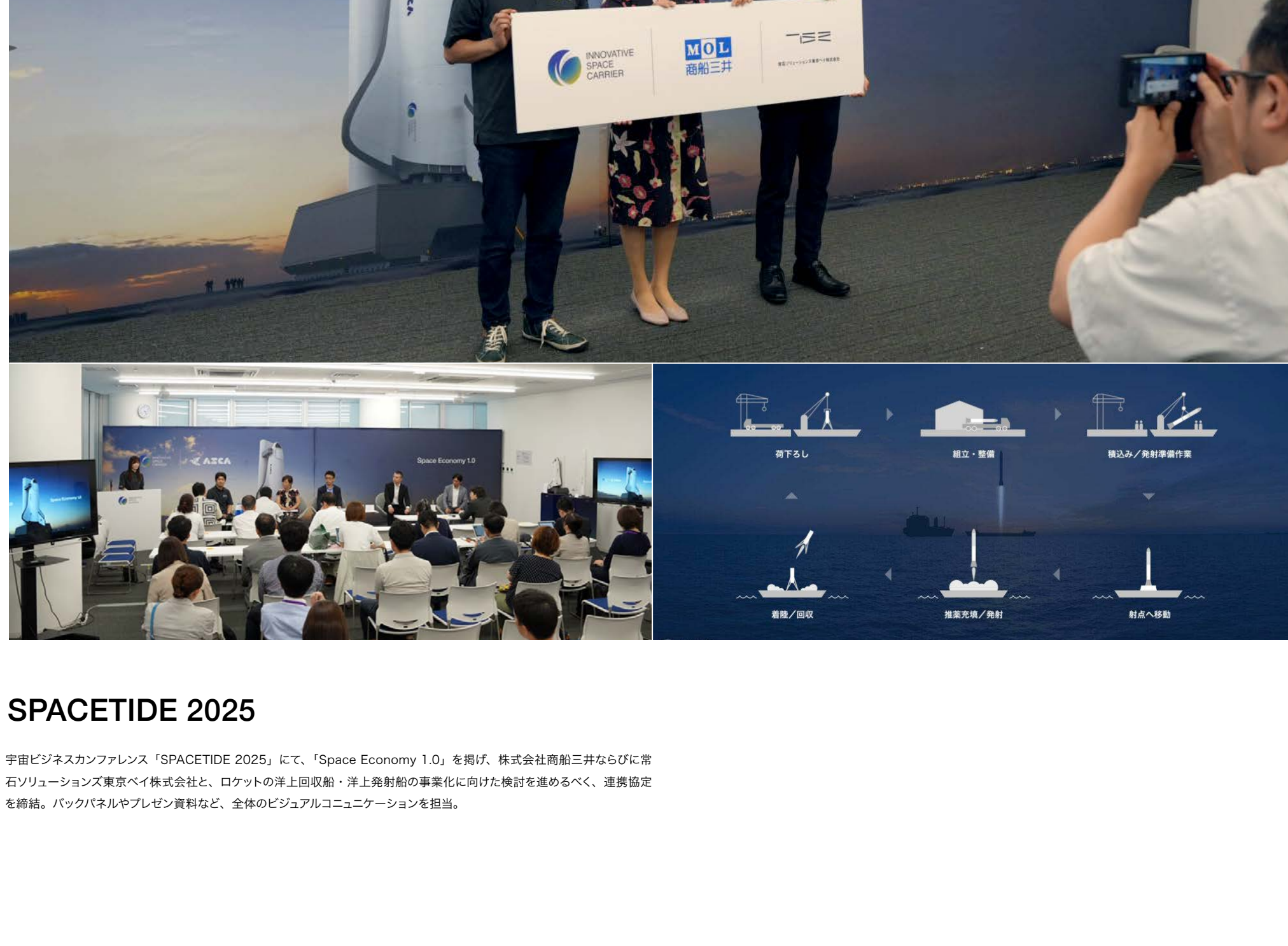
ミッション説明会 Mission Briefing Session

2025 年内にアメリカでの実施を予定とする「ASCA 1 (アスカ ワン) ミッション」の概要を開発拠点「将来宇宙輸送システム 鶴見ベース」にて発表し、JFE エンジニアリング株式会社との同社リソースを活用するための基本契約調印式を実施。開発ベースをはじめ、プレス用バックカナルやプロダクトの発表。プレゼン資料まで、全体のビジュアルコミュニケーションを担出。多くのプレスやメディアに取り上げられ、WBS (ワールドビジネスサタライト) での放映もあり注目を集める。



ミッションワッペン Mission Wappen

ASCA ミッションに関わるメンバーがチーム一丸となって過酷な遠征地で遂行できるように、一つのビジュアルイメージをつくり、社用ユニフォームに装着するワッペンとしてデザイン。イラストレーションはじめ、デザイン、クリエイティブコントロール、マネジメント、オペレーションまでプロジェクト全体を担当し、インナーブランディングとしても貢献。



SPACETIDE 2025

宇宙ビジネスカンファレンス「SPACETIDE 2025」にて、「Space Economy 1.0」を掲げ、株式会社商船三井ならびに常石ソリューションズ東京ベイ株式会社と、ロケットの海上回収船・海上射撃の事業化に向けた検討を進めるべく、連携協定を締結。バックパネルやプレゼン資料など、全体のビジュアルコミュニケーションを担当。



スポンサーシップ プログラム Sponsorship Program

ロケットや技術開発だけではなく事業として収益を上げるべく、これからのロケット事業の展開において、スポンサー企業を募り様々な活動を行うプロジェクト。スポンサーで使用するキービジュアルのデザイン、画像レタッチ、営業資料にグラフィック、機体やイベント等についてのロゴ提出における絶かなデザインシステム・ルール設計を行う。



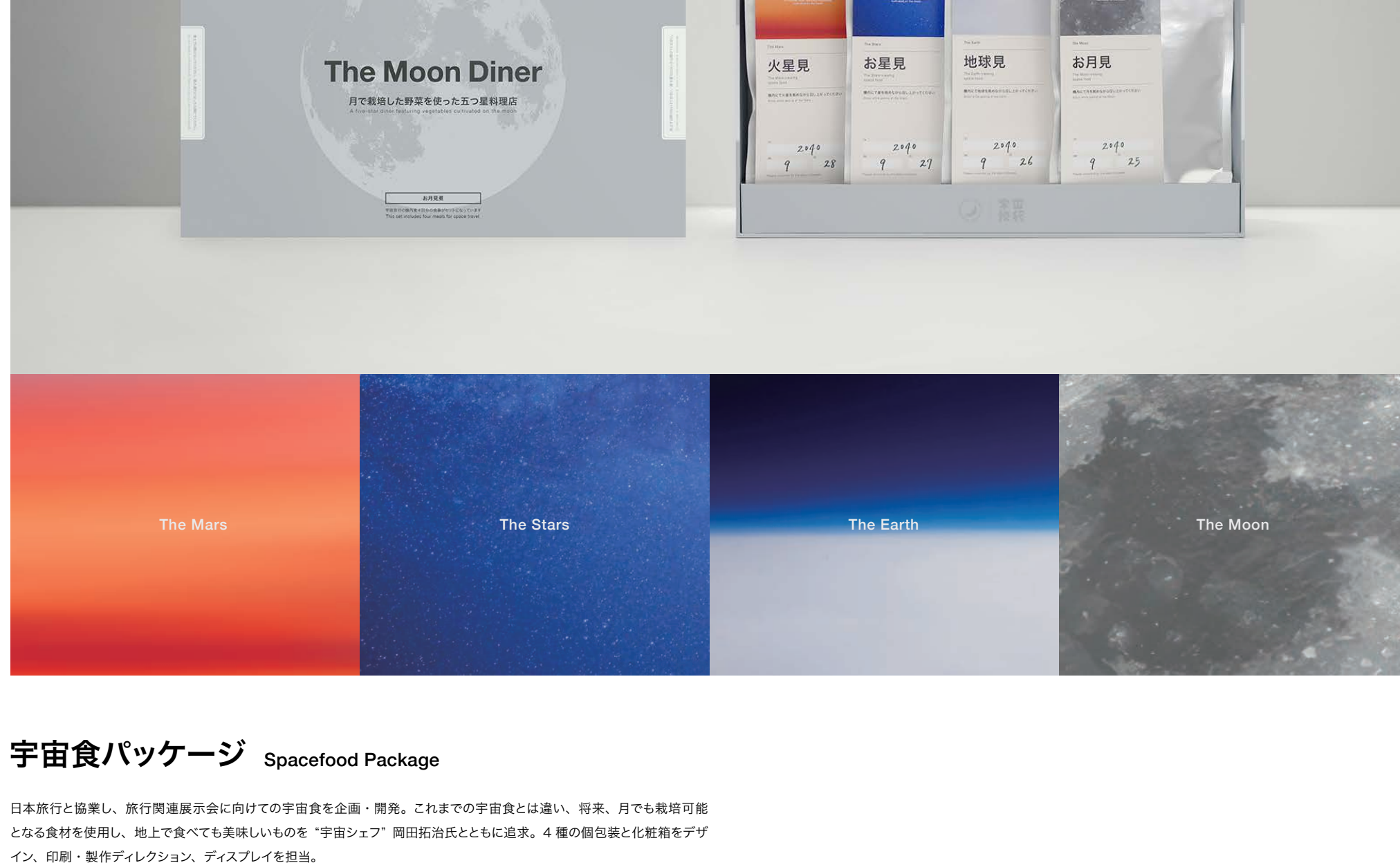
ブランドロゴ ガイドライン Brand Logo Guideline

ブランドロゴを社内の誰もが扱うことなく正しく使用し、統一感を保ち質の高いコーポレートブランドを構築すべく、社内用のガイドラインを開発。専門的な知識がなくても、どんな人でも理解できるような言葉や表現を工夫し、なるべく読みこまぬボリューム感で、社内への浸透を行う。デザインシステム、フロー、マネジメント、オペレーション全体を担当。



会社概要パネル Presentation Panels

宇宙関連の展示会が全国で開催され、少数のスタッフでも質の高いプレゼンテーションができるように、わかりやすいビジュアルと説明を兼ねたパネルを制作。大画面でも見やすい、様々な機会でも使用し、効果を発揮。コンテンツ構築、デザイン、画像レタッチ、運用まで全体を担当。



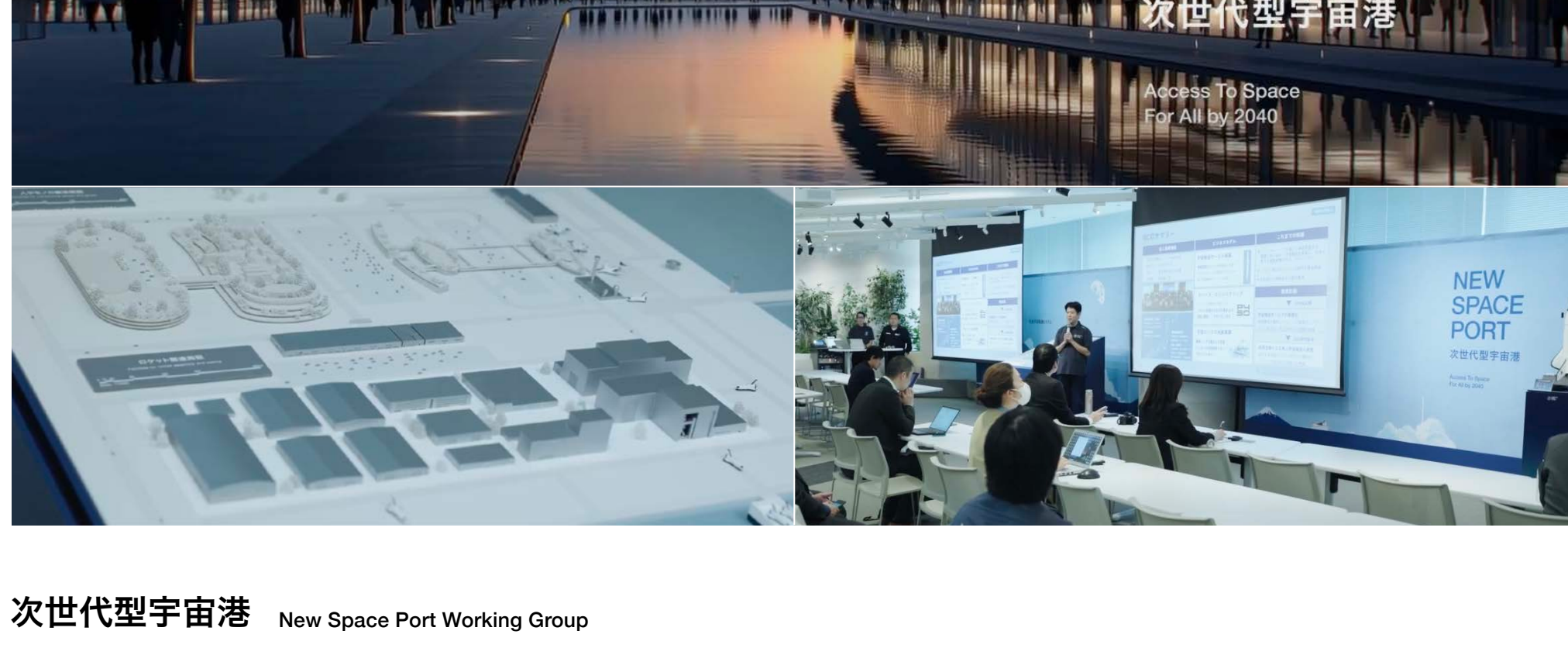
宇宙食パッケージ Spacefood Package

日本旅行と連携し、旅行関連展示会に向けての宇宙食を企画・開発。これまでの宇宙食とは違い、荷役、荷役、月でも栽培可能となる食材を使用し、地上で食べても美味しいものを「宇宙シチュエーション」岡田拓治氏とともに追求。4 種の包装设计、デザイン、印刷、製作・デレクション、ディスプレイを担当。



Nihonbashi SPACEWEEK 2025

アジア最大の宇宙ビジネスイベント「NIHONBASHI SPACE WEEK 2025」にて、東京会場でのブース出展および日本旅行との記者発表会を開催。キービジュアルをはじめ、全てのタッチポイント (バックパネル、サイン機、プレゼン資料など) のデザインを担当。AI による画像生成も取り入れ、効率的で効果的なビジュアルコミュニケーションを行う。



次世代型宇宙港 New Space Port Working Group

NIHONBASHI SPACE WEEK 2025 にて、「次世代型宇宙港 (NSP: New Space Port)」のあり方を検討するワーキンググループ報告会を開催。キービジュアルをはじめ、全てのタッチポイント (バックパネル、サイン機、プレゼン資料など) のデザインを担当。AI による画像生成も取り入れ、効率的で効果的なビジュアルコミュニケーションを行う。